

2 小学校低学年用「トモちゃん 大すき」 指導例

本資料は、おとなしくてあまり目立たないが、真面目に役割を果たしたり、黙って自分のできることをしたりしている友達（トモヨ）を見つめている「わたし」（マツミ）の視点から描いたものである。運動が苦手でそのことだからかわれたり、やさしい言動を誰にも気付いてもらえないでいたりするトモヨのことを、いつも気にかけて見守っているマツミの気持ちを丁寧に追いかけることを通して、周囲にいる友達のよいところを改めて見つめ直し、仲よく助け合っていこうとする意欲を高めることをねらいとしている。

展開前段では、トモヨのことを気かけ、トモヨのよさをみんなに分かってもらいたいと願うマツミの思いについてじっくりと話し合うようにする。トモヨが認められたことを、自分のことのようにうれしく思うマツミの態度や、トモヨが自分の力でできるよう願う、教えずにそっと見守るマツミの姿から、無私の友情の素晴らしさを感じられるようにしたい。展開後段では、自分たちを振り返り、友達のよさや頑張っている姿について話し合うことを通して、互いに認め合い、仲よく助け合っていこうとする意欲や態度を育むようにしたい。

- ◆ **主題名** すてきな友達 指導内容 低2-(3)
- 資料名** トモちゃん 大すき (奈良県教育委員会)

◆ ねらい

マツミが、トモヨのことを気かけ、トモヨのよさをみんなに分かってもらいたいと願う思いや、トモヨが認められたことを自分のことのようにうれしく思う態度、トモヨが自分の力でできるよう願う、そっと見守る姿について話し合い、友達と仲よく助け合っていこうとする意欲や態度を育てる。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、友達について話し合う。	○ 頑張っている友達の姿を知っていますか。 ・〇〇君はいつも大きな声で号令をかけているよ。 ・トイレのスリッパを□□さんがそろえていた。	・普段の友達の様子を振り返る機会とし、本時の学習内容につなげるようにする。	
展 開	2、資料「トモちゃん 大すき」を読んで話し合う。	○ 泣きそうになっているトモちゃんを見て、わたしはどんなことを思っただろう。 ・わたしの友達にそんなこと言わ	・おとなしくて言い返せないだけでなく、実際トモヨは運動が苦手であることも押さえ、マツミがシ	

展 開	3、自分を振り返る。	<p>ないで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トモちゃんがかわいそうで腹が立つ。 ・トモちゃんを守ってあげたい。 <p>○ 先生の言葉を聞いて、わたしがうれしくなったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生がトモちゃんがしていることに気付いてくれていたから。 ・トモちゃんのことをみんなに分かってほしいと思っていたから。 <p>◎ トモちゃんができるのを待っているとき、わたしはどんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少しだよ。がんばってね。 ・自分でできた方が、トモちゃんぜったい喜ぶぞ。 ・トモちゃんの喜んでいる顔が見たいなあ。 <p>○ わたしは、トモちゃんのどんなところが大好きなのでしょう。自分の友達にもそんなところがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしいところ。 ・何も言わないで、みんなのためになることをしているところ。 ・一緒にいるとうれしい気持ちにさせてくれるところ。 	<p>ヨウタの言葉をどう受け止めたのかを、自分の身近な友達のことも振り返って考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トモヨのしていることに着目し、マツミがそんなトモヨのことをどう思っているのかを考えるとともに、自分のことでなくトモヨのことでうれしくなるマツミの気持ちに共感できるようにする。 ・どうして教えなかったのか、教えたいとは思わなかったのかを問い返すことにより、自分のことよりトモヨの本当の願いを大切にしようとしたマツミの思いに気付くことができるようにする。 ・ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、多様に意見交流ができるようにする。 ・トモちゃんに対するマツミの気持ちについて話し合うとともに、そんな気持ちが自分にもあるかどうかという視点で友達のことを振り返り、友達によさや頑張っている姿について話し合い、認め合うようにする。 	ワークシート
	終末	4、指導者の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者自身の友達に対する思いや経験を話すことなどにより、友達と互いに認め合い、仲よく助け合っていこうとする意欲や態度を高めるようにする。 	